

## 10 検検にあたって

検定では、審査員が検定表に基づいて、受検者の清掃技能を評価します。しかし、将来社会に出て働けるようになるためには、技能を高めていくだけではなく、自ら身だしなみを整え、挨拶や報告をしっかりとできるようにすることも大切です。

そこで、この検定においても、身だしなみを整えてから受検することにしています。また、検定の中で、審査員に対して挨拶や報告を行う場面も設けています。

### (1) 身だしなみ

検定の評価項目の中に、身だしなみについての項目はありません。しかし、清潔感のある服装をするなど、身だしなみを整えた上で受検することはとても大切なことです。日頃から自分で身だしなみを点検し、整えていく習慣を付けた上で、検定に臨むようにしましょう。

- ① 洗濯済みのきれいな作業着を着る(ズボンには長ズボンを履く)。
- ② シャツの裾をズボンの中に入れる。
- ③ 靴ひもはしっかりと結ぶ。靴のかかとを踏まずに履く。
- ④ 帽子をかぶる。
- ⑤ ひげをそる。爪は短く切る。

### (2) 挨拶や報告

検定は、挨拶から始まり、終了の報告で終わります。挨拶や報告をするときには、審査員の方を向いて姿勢を正しくし、はっきりとした声で行うようにしましょう。

#### <作業を始めるとき>

- ① 名前を呼ばれたら、「はい。」と返事をして審査員の前(又は、スタートライン)に立つ。
- ② 「○○特別支援学校(学園)、○○○○(名前)です。よろしく願います。」と帽子をとって挨拶する。
- ③ 帽子をとったまま審査員の説明を聞き、「始め。」の合図があったら、「始めます。」と言い、帽子をかぶって作業を始める。

#### <作業が終わったとき>

- ④ 作業が終わったら、審査員に向かい、帽子をとって、「終わりました。」と報告し、審査員からの話を聞く。
- ⑤ 審査員からの話が終わったら、「ありがとうございました。」とお礼を伝え、待機場所に戻る。